

# 株式会社タニタ

はかることを起点に、誰もが幸せを感じられる健康長寿社会の実現へ向けて  
「健康をはかる」をすべての人に

音声で計測をサポートし、結果を知らせる体組成計



デジタルボイススケール  
システム310(1986年)



体組成計  
音声インナースキャン  
BC-200(2004年)



体組成計  
インナースキャンボイス  
BC-202(2011年)

株式会社タニタは健康計測機器の製造販売や健康関連のサービスを幅広く提供する健康総合企業です。1959年に家庭用体重計の製造を開始し、「ヘルスマーター」の名称で発売しました。その後も、1992年には乗るだけで体脂肪率がはかれる世界初の体内脂肪計を開発したのをはじめ、さまざまな健康計測機器を商品化。数々の健康指標を通じて、人々の健康づくりをサポートしています。

体重計・体組成計は、体脂肪率や筋肉量などを定量化し、健康状態を「見える化」します。その特性上、数値を「見る」ことが必要となるため、視覚障害者が1人で使用することは困難でした。そこでタニタでは、1986年に音声で計測結果を読み上げるボイススケールを発売。その後も1991年に2号機を、体組成計発売の翌年となる2004年には、音声でお知らせする体組成計を発売し、30年以上にわたって幅広い人々が体組成をはかれる環境を提供してきました。現在は、アニメやゲームなどとコラボレーションし、キャラクターの声でお知らせする特別モデルも商品化しています。好きなコンテンツをきっかけに、健康にあまり関心のない層に対して未病の段階で健康や体組成に関心を持ってもらえるよう、働きかけています。

3 すべての人に  
健康と福祉を



Sustainability

